

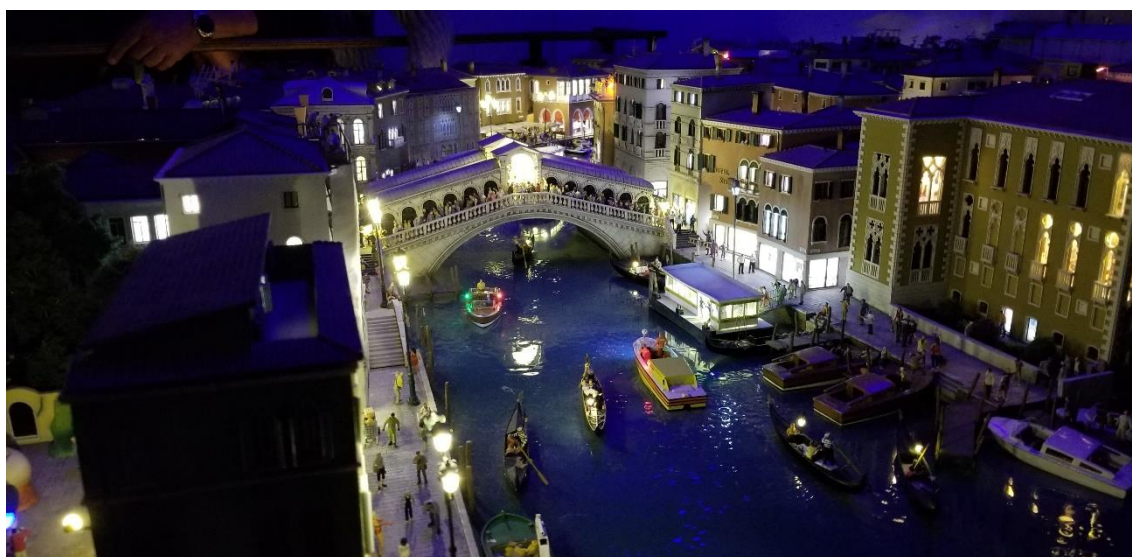
福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（7月分）

留学先大学：ハンブルク大学

氏名：長田優輝

みなさんこんにちは、長田優輝です。

ハンブルクに来て4カ月が過ぎ、生活にもほぼ完璧に慣れてきたわけですが、大学も終わり、夏休みに入ると非常に暇です。



今月は特に何もなかったもので、留学というものについて書いていこうと思います。私は高校生の頃から留学に行きたいという思いがありましたが、今思えば浅はかだったかなと思います。留学といっても様々な種類があり、渡航先や時期など組み合わせは膨大な数になるでしょう。

留学は手段

であり、目的には成りえないのではないかと思います。私は留学が目的になってしまっていたような気がします。渡航前に「なぜ留学に行くのか、目的は何か」考えてはいましたが、渡航先が決まった後に考えた後付けの理由になってしまっていました。渡航先を決める段階で自分が何をしたいのか・どうなりたいのか、それを達成できる環境が渡航先にあるのか、しっかりと考えたうえで渡航先を決めたほうが留学を最大限に活かせると思います。

留学が目的となっている場合、留学に来た後にどこに向かっていけば分からなくなります。留学してすぐは文化的違いから多くのストレスが乗っかってきますが、その際に自分が何をしたいのか・すべきかが分かっていると、より苦しむことになると思います。

幸いにも私の場合、割と早い段階で自分のやりたいこととそれを実現できるであろう環境を見つけることができたので良かったです。すべての人のやりたいことが渡航先で見つかるのか、見つかったとしてもその環境で実現できるのかは分かりません。半年や一年間といった限定的な時間の中で時間は非常に大事です。貴重な時間を無駄にしないためにも事前にしっかりと考えをまとめておく必要があります。

今月は2週間ほど時間をかけてナポリ、アテネ、フランクフルトに旅行に行ってきました。



イタリアといったらやはりパスタとピザでしょう。本場イタリアで食べるパスタとピザは圧倒的なおいしさで、常時にやけてしまうほどでした。



アテネはユーロ圏の中では圧倒的に物価が安く、食べ物もおいしく、景色がきれいですばらしいところでした。



フランクフルトは非常にきれいで、日本人も多いため日本食も豊富で、いままで行ったドイツの都市の中で個人的にはベストでした。

今月の月例報告書はこのへんで
さようなら